

2013年11月12日開催 第583回番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長、櫻井美幸副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、佐藤友美子委員、東野博昭委員、若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
泉報道局長、澤田ニュースセンター長

◆ 報告事項

10月25日の再免許の交付の際に、総務省から出された「特定地上基幹放送局等の再免許に当たっての要請」についてコンプライアンス室長が番組審議会に報告した。

◆ 審議事項

テレビ番組「夏休み！石田英司のHOTジャーナル」（8月6日、7日放送）について意見交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- *何が起っていてどういう原因だったか、これからどうなるのか、課題がどこにあるのか、そういうことが非常にわかりやすく、全体としては非常に好印象を受けた。
- *SNS疲れはよく言われている。わざわざプロみたいな人を出してくるのではなくて、普通の人がいかに疲れているかという話にしないと、最初から無理がある。
- *全体にいうと、何か丁寧にやり過ぎた。番組としては、もうちょっと破綻というか、それをつぶす人がいるというシーンがあったらいいと思う。
- *お笑いの芸人さんとかがいなくてとっても落ち着いて楽しめた。山中アナウンサーが非常に的確に番組を進行していて、好感が持てた。
- *日中問題をどう解決していくかも含め、タイミングのいいテーマ設定だった。ただ、短い時間でいろんなことをやや詰め込み過ぎの感じがした。
- *SNSのユーザーがほとんどいない空間でSNS叩きをするのは、「そう

いう利用ばかりじゃない」という印象を受けた。

- * 「ふいふい」を見ることが前提となった終わり方になっている。それを決め込まれるのは少し抵抗があった。
- * わかりやすくするにはあまりごっちゃにしちゃいけないという難しいところがあるので、着地点をどのへんに求めるかがこういう番組をつくる時は難しい。
- * 全体的な印象としては、非常にじっくり、しっかりニュースを読み解き、関西の興味深い情報を知ることができるおもしろい番組だった。
- * ニュース情報番組として放送から3カ月以上たった今見てもおもしろいと感じた。なるほどと腑に落ちる話題やコメントがあった。

以上